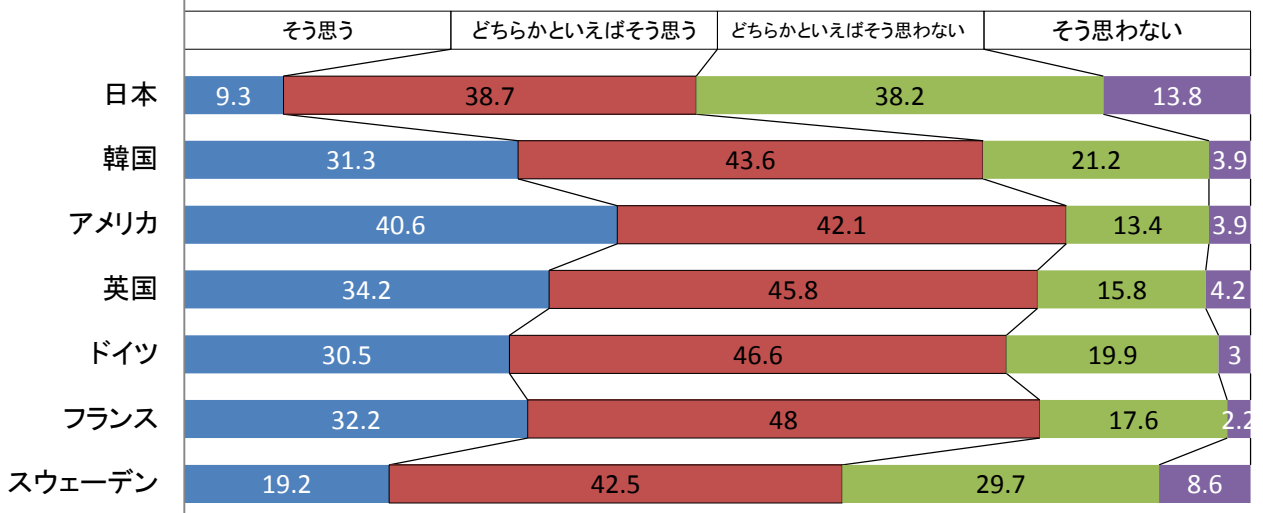


前回に引き続き、内閣府の「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成25年度実施、調査対象13~29歳)」の結果から抜粋です。自分の考えをはっきり伝えることができると思っている人は、他国に比べて圧倒的に少ない現状です。あなたは自分の考えを人にきちんと伝えることができますか？

■自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



言いたいことを相手に伝える  
**上手な話し方のポイント**

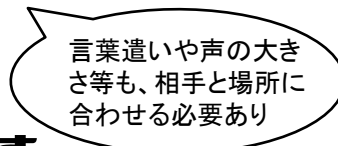


**1.常に相手の立場を考えて話す**

すべてのコミュニケーションの基本！聞き手がどう受け止めているか考えること。

**2.何を話すかを明確にする**

「何を話すか」=テーマをはっきりさせること。



**3.一番伝えたいことを最初に示す**

まず結論を話すこと。話の組み立てが大事。

**4.出来る限り具体的に話す**

具体的な事例や具体的な言葉で説明をすること。



文章を書く時には「起承転結」に注意してなどと言われますが、話をする時には、まず「結論」から話します。つぎに、その理由を説明するのですが、相手に分かりやすい具体的な事例を補足すると親切です。そして最後に結論を再度提示すると、言いたいことがだいぶ伝わりやすくなると思います。



このような話し方を【**PREP法 (プレップ法)**】といいます。

プレップ法を用いて話すと、「僕はバナナが好きです(結論)」「手軽に食べられて栄養価が高いからです(理由)」「プロのテニスプレイヤーも試合中に食べたりしています(具体例)」「なので、僕はバナナが好きです(結論)」という話し方になります。意外と簡単に考えられますよね。先生に何かを伝える時、LHRなどで自分の意見を述べる時、プレップ法を使って話をしてみましょう。

これから自分の進路を決める時に、まずは自分の考えをしっかりと持たなければいけません。進学したいのか就職したいのか、なぜそう思うのか。そして「私は高校卒業後は□□学校に進学したい。なぜならそこで〇〇について学びたいから。調べたところ、その学校から△△へ就職している先輩方がいた。だから私は□□学校に進学したいと思う。」というように説明ができるようになる必要があります。